

| | | | | |
|--------------------------------------|---|---|--|--|
| 目 指 す 学 校 像 | <p>本校の校訓 「共に学び 共に進む」</p> <p>本校の教育目標</p> <p>① 人間性豊かで、互いの人格を尊重し、社会の発展に貢献できる人材を育成する。</p> <p>② 人権尊重の理念を基盤に、生徒が高い「規範意識」をもち、「感謝・礼儀・思いやり」を励行する。</p> <p>③ 確かな学力を向上させ、自ら学び考え行動する、個性と想像力豊かな人間を育てる。</p> <p>④ 特別活動、部活動の振興を通して、生徒の心身を鍛える。</p> <p>⑤ 生命尊重と安全を常に心がける人間を育てる。</p> <p>教育目標を実現し、変化の激しいこれからの社会を生き抜く、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する学校を目指す。</p> | | | |
| 中 期 的 目 標 と 方 策 | <p>普通科中堅校として、基本的な生活習慣を身に付けさせ、多様な生徒の学力向上及び進路実現に向けて、進学指導体制の改善を図り、生徒の学力に応じた指導体制を強化する。生徒及び保護者の満足度の高い学校づくりを推進し、地域との連携を強化し、地域から信頼される、地域に貢献する人間を育成する。</p> <p>なお、校内諸会議の開始・終了予定時刻の明示、効率的な職務遂行、メリ張りのある働き方、有給休暇の積極的取得等により、学校における働き方改革を推進し、ライフ・ワーク・バランスの一層の充実を図る。</p> | | | |
| | 各組織 | 今年度の取組目標と方策 | 今年度の重点目標 | 関連する数値目標 (令和元年度実績) |
| 学 校 全 体 | <p>組織的學校経営の推進 PDCAサイクルに基づくマネジメントシステム カリキュラムマネジメントシステム 「チーム竹台」 横断的学びの実現、協働する教職員</p> | <ul style="list-style-type: none"> 企画調整会議 検討充実。 主幹会議 主幹教諭の連携・協力、学校改革牽引。 教科主任会の検討課題の焦点化、充実。 教職員の積極的な情報発信。 グランドデザインの定着、新教育課程編成、大学入学共通テストへの対応。 | <ul style="list-style-type: none"> 情報の共有化 報告・連絡・相談の徹底。 組織目標と年間計画、学期ごとの振り返り、自己評価と次年度に向けて。 引継(資料)の改善。 校内ネットワークの整理、活用。 電子起案の推進。 分掌、学年、教科間の連携強化。 | <ul style="list-style-type: none"> グランドデザインの周知 主幹会議学期1回 (31年度1回) 教科主任会定例開催 (31年度月1回) |
| | <p>系統的なキャリア教育の推進 進路指導部が方針を立て、主導し、学年・教科と連携・協力して取組を充実、強化する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 生徒情報の共有化。 一人一人の生徒の学習状況把握(入学から卒業までの推移データの整備・活用)ときめ細やかな対応。 上級学校説明会等への積極的参加、情報収集・活用。 出願指導に係る教員研修、卒業生のデータの活用、ガイダンス、個別相談の充実。 「都立高校生のための社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」の活用。 同窓会(さつき会)との連携、キャリア講座、課外授業。 | <ul style="list-style-type: none"> 拡大学年会の充実。 成績処理ファイルの活用。 模試の結果分析会。 目線合わせの実施。 第一志望の早期明確化。 データに基づいた面談、三者面談の実施。 FINE SYSTEM 活用による個別指導。 Classi の活用(1・2・3 学年)。 大学入学共通テストに向けた情報収集及び問題の分析、活用。 | <ul style="list-style-type: none"> 自立支援プログラムの活用 2 学年 3 回(31 年度 3 回) 1 学年 1 回(31 年度 1 回) 同窓会との連携 2 学年キャリア講座 1 回 (31 年度 1 回) 1 学年 0B・0G 課外授業 1 回 (31 年度 1 回) |
| | <p>生徒・保護者・地域から信頼される教職員。 教育公務員としての高い使命感、倫理観、服務規律の遵守。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 服務規律の徹底。 校内規定の整備。 情報資産の管理の徹底。 | <ul style="list-style-type: none"> 個人所法の保護、管理の徹底。 クリーンデスクの励行。 「4S」(整理・整頓・清掃・清潔)の推進。 | <ul style="list-style-type: none"> 服務事故防止研修 4 回 (31 年度 4 回) 服務事故 0 回 |
| | <p>地域連携 【地域密着型教育活動推進校】</p> | <ul style="list-style-type: none"> 地域に開かれた学校づくり。 地域の公共機関との連携による生徒の健全育成。 | <ul style="list-style-type: none"> 都立学校開放事業実施。 小、中学校等との連携。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校運営連絡協議会協議委員・荒川区教育委員会事務局統括指導主事 施設開放 ティスコート 1 面 20 団体、22 日。(31 年度 18 団体 35 日) 荒川区立小、中学校との交流活動 2 回 |

| | | | |
|---|---|---|--|
| <p>国際理解教育の推進 Society5.0 for SDGs等 が目指す、新しい時代に 必要となる資質・能力の 育成。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育 ・東京と国際交流コンシェルジュの活用。 ・外国語教育 JET ALT の活用。 TGG(TOKYO GLOBAL GATEWAY)における学習。 ・第二外国語履修の促進。 ・日本の伝統・文化理解教育。 | <p>【在京外国人生徒対象入学者選抜実施校】外国にルーツを持つ生徒活躍の場、相互理解の深化。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 学年必選「中国語」、自選「朝鮮語」の充実。 | <ul style="list-style-type: none"> ・TGG への参加 1 学年 (31 年度 1/17、201 名参加) |
| <p>計画的、組織的な人材 育成。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・OJT、校内研修の充実 PT「竹台 HOPE」開催。 ・教員の授業力の向上 【AL 推進校】教員相互の授業参観、先進校視察。 校内、外の優れた実践に積極的に学ぶ。 【人権研修】 人権課題の把握、人権意識の向上。 【明海大学との「教育連携に関する協定」締結校】 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の充実 ・AL の視点からの授業改善、ICT の活用。 ・授業公開週間 (4 月)、授業公開 (10 月) の活用。 ・紀要第 4 号作成発行。 ・年 1 回教職員対象の校内研修を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・PT1 回 (31 年度 1 回) ・研究授業、研究協議 各教科 1 回 (31 年度研究授業 6 教科各 3 回、保健体育 9 回) ・授業見学 年間 4 時間以上、「この授業見よう」(31 年度 (39 名中) 4 時間以上 11 名 (28.2%) 1～3 時間 7 名 (17.9%)) ・指導教諭の模範授業参観 各教科 1 回以上 (31 年度数学・理科実施) |
| <p>ライフ・ワーク・バランスの 推進。 学校における働き方改革の 推進。</p> | <p>教員の意識改革 職場風土の醸成の推進。</p> | <p>会議の目的、開始・終了予定の明示。 マイ定時退庁日の設定。 20 時完全退勤日の設定。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・週当たり在校時間が 60 時間を超える教員 0 |
| <p>募集・広報活動の充実 総務部、募集対策委員会が方針を立て、主導し、全校連携・協力して取組を充実、強化する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学校特色のより一層の明確化。 ・入学者選抜の評価、検証及び改善 ・情報発信の工夫・改善(「学校案内」の刷新、ホームページのリニューアル、適時適切な更新、都立学校魅力 PR 動画「まなびゅー」制作、「竹台高校便り」。 ・家庭、地域等の本校に対する要望の把握及び対応。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員による計画的、組織的な近隣中学校訪問。 ・夏季休業日学校見学会実施 (12 回)。生徒会役員生徒の協力。 ・合同説明会等外部会場への一人 1 回以上の参加。 ・中学校訪問一人 3 校、塾訪問一人 3 塾以上。 ・学校説明会、個別相談会の工夫、改善。 ・中学校との連携強化。 ・新入生対象 (4 月実施) 入学アンケート調査。 本校に対するイメージの把握、次年度募集対策へ活用。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問 (150 校) (31 年度 145 校) ・塾訪問数 60 塾以上 (31 年度 58 塾) ・中進対 1.0 倍以上 (31 年度 1.64 倍) ●入学者選抜分割前期最終応募倍率 1.5 倍(31 年度 1.53 倍) ・入試対策講座 5 教科 2 回(31 年度 2 回) ・文化祭来校者数 1200 名 (31 年度 1311 名) ・ホームページ更新 200 回以上 (31 年度 184 回) ・「竹台高校だより」12 号発行 (31 年度 9 号発行) |
| <p>教育環境の改善・充実 校舎改築及び創立 80 周年準備。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な教育環境の改善、地域の期待に応える学校づくり。 ・周年行事、落成記念式典開催に向けての検討。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新校舎建設工事対応、代替施設借用 荒川区立諏訪台中学校第 2 グラウンド、駒沢オリンピック公園総合運動場第 2 球技場 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科、生活指導部、経営企画室の連携・協力 ・周年行事、新校舎落成準備委員会の設置 |

| | | | | |
|--------------|--|---|--|---|
| <p>教科</p> | <p>人間力の向上 学力向上 【アクティブラーニング推進校】 ・教科を中心とした組織的な取組（全員）。 ・AL型授業の指導法、授業形態の開発と教員のスキル向上。 ・AL型授業を通じた生徒の学びの変容・深化。</p> <p>体力向上 ・意識の涵養 ・理論的説明 ・実践的指導 ・振り返り</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学カスタンダードに基づく指導組織的・効果的な指導。 ・教科会（月2回）の充実。 ・相互授業参観の活用。 ・自主学習間の伸長。 ・土曜講習の充実。 ・読書活動の推進、言語活動の充実 ・ICT機器を活用した効果的な教科指導の工夫。 ・英語教育の改善・充実-JET・ALT-の活用。 ・主権者教育の推進（地歴・公民科等）。 ・消費者教育の推進（家庭科等）。 ・オリンピック・パラリンピック教育の推進、集大成、各教科、1・2学年総合的な探究の時間の学習内容・活動、3学年総合的な学習の時間の学習内容・活動と関連付け。5つの資質の育成、特に「豊かな国際感覚」の育成を図る。 4×4の取組、大会後のレガシーの構築を見据えた取組を進める。（全教科合計、年35単位時間） ・体力、運動能力の向上。 体力テスト（6月）実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学力調査、結果分析、追指導による学力の確実な定着。 ・ALの研究と実践。 生徒に課題意識を持たせる。生徒相互の学び合い（教え合い）を実現する。プロセスに係る問い、振り返りを工夫する。問題に気付かせ、解決策の取組につなげる。メタ認知。 【授業のポイント】授業スキル(伝達、生徒の状況把握)、授業デザイン(学習目標の明確化、課題解決を通じたアウトプット)、学習成果(学力・技能の向上感)や負荷の感じ取り方。 ・学年との連携 課題提出の徹底、タイム・マネジメント指導、支援。 ・読書の全校的、継続的奨励。 ・スピーチ、ディベート等の奨励。 世界友達プロジェクト(グループ12)交流。 ・体力テスト事前指導徹底。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学力調査得点、55%以上 ・AL型授業を行う教員100% ・全教科における指導方法、教材の蓄積と見える化（紀要）。 ・土曜講習1学年10回(31年度実施せず。放課後講習20回)、2学年10回(31年度8回)、3学年10回(31年度26回)、参加延人数400名以上(31年度370名)。 ・本校図書館の貸出冊数3000冊以上(31年度2014冊) ・不読率22.3%未満(31年度30.9%) ※隔年調査 ・資格取得 英検、漢検の準2級レベル以上合格15名以上(31年度英検11名、漢検5名) ・体力テスト 全学年都平均を上回る「アクティブプランto2020」目標値達成。 |
| <p>学年</p> | <p>在り方生き方を考えさせる。 基礎的・汎用的能力の育成。 自己実現に向けての指導の充実。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム活動、1・2学年総合的な探究の時間、3学年総合的な学習の時間等を通じて、在り方生き方を考えさせるとともに、「基礎的・汎用的能力」を身に付ける意義を繰り返し理解させる。 ・週末課題。 ・小論文指導。 ・分野別指導（全学年）。 ・志望理由書作成指導（3学年）。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1学年オリエンテーションの充実（高校における学習内容・学習方法、自主学習の重要性等の確認） ・朝学習、放課後講習。 ・自習室開設、活用促進。 ・放課後の補習（定期考査前学校で学習） ・「人間と社会」の計画、実施(2学年)。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自習室開室150日以上(31年度177日開室) ・拡大学年会1、2学期各1回 |
| <p>教務部</p> | <p>人間力の向上 学習習慣の確立 -自主学習時間の伸長- 生徒一人一人の「確かな学力」の定着と伸長方針を立て、主導し、学年、教科と連携・協力して取り組む。</p> <p>新教育課程に向けての検討。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習と生活「時間」管理（記録）指導。 ・定期的な自主学習時間調査。 ・生徒による授業評価アンケートの実施及び結果分析年2回。 ・長期休業期間中の講習、補修。 ・教育課程の評価・検証・改善。 ・授業改善。 <p>教育課程委員会にて検討。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自主学習時間調査（各定期考査）実施、集計、結果分析、フィードバック。 ・生徒による授業評価アンケート（7月・12月）実施。 ・長期休業期間中の組織的な講習、補修の計画、実施、振り返り。 <p>・完成年度及び移行期間の各教科・科目の設定。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●自主学習時間1日1時間以上70%（31年度1学年49.5%、2学年53.4%、3学年47.8%） ●生徒による授業評価アンケート（肯定的評価）75%（31年度1学年69%、2学年73%、3学年75.2%） ・長期休業期間中の講習延200時間以上、参加延500名以上（31年度24講座168時間参加延375名） |
| <p>生活指導部</p> | <p>人間力の向上 規範意識の向上 生活指導指針に基づく指導 方針を立て主導し、学年、教科と連携・協力して取り組む。 安全教育の推進（生活安全、交通安全）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「身に付けさせる規律・規範の全体計画」に基づいて、遅刻防止、頭髪、服装・身だしなみ指導の徹底を図る。 ・挨拶の励行、マナー尊重の精神の育成。 ・朝、昼休みの正門等における指導、授業時巡回を全教員当番制で行う。 ・セーフティ教室、薬物乱用防止教室の充実（危険ドラッグ等）。 ・情報モラル教育の推進。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行動目標：5分前集合。 遅刻をしない/させない。チャイムとともに授業開始。時間を守らせる。 遅刻のデータ集計、報告。 ・行動目標：挨拶の充実、自転車安全走行指導。 イヤホン使用、雨天時傘差し厳禁の徹底。 | <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者 1学年10%以下、2学年15%以下、3学年15%以下(31年度年間延べ19413回、18%) ●学校評価アンケート（きまりを守ることや良識を育てるような教育）(地域の否定的評価)30%未満(31年度 実施せず。) ・頭髪、服装、身だしなみ指導の徹底（ピアス、女子制服 |

| | | | | |
|-------|--|---|---|---|
| | <p>自信と誇りの持てる学校 (PRIDE&BRAND)。 自治意識、帰属意識の向上。 豊かな人間性の育成。</p> <p>安全・安心な学校 心身の健康づくりの推進。</p> <p>いじめの総合対策に基づいた対応</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・部活動、生徒会活動及び学校行事の充実・振興。 ・体罰禁止、根絶。 ・定期的な部活動調査 (部員数、活動状況、活動の成果等)。 ・地域行事への積極的参加。 <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策に資する教育の推進。 ・(保健) 健康づくりの推進。 アレルギー疾患対策 ・(美化) 校内・外の環境美化とリサイクル意識の育成。 ・不登校、中途退学の防止。 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応、重大事故への対応。 「いじめ対策委員会」を核とした取組を行う。アンケートを年間3回以上実施する。 教育相談体制の充実。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校歌指導。 ・「SNS 東京ルール」改訂版を基に「SNS 竹台高校ルール」の見直し、改訂。 ・全教員の組織的な取組による部活動指導。 部活動顧問による部員の学習、生活への積極的な関与、指導。 ・部活動の活性化。 ・部活動生徒等を核とした奉仕的活動の充実、地域との連携の深化。 <ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さを実感させる、様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けさせる。(SOS の出し方等)、心の健康の保持に係る教育を行う。 ・学校医等との連携強化。 エピペン使用の研修等。 ・ゴミ分別指導の徹底。 環境委員による点検、取組の良いクラスを顕彰。 ・スクールカウンセラー等との連携による相談しやすい学校づくり。 ・1 学年生徒全員面接。 ・外部専門機関との連携。 | <p>スカート丈改造厳禁、化粧禁止等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1 学年生徒部活動加入率 70% (31 年度 45.8%) ・部活動定着率 70%以上 (30 年度調査実施せず。) ・体罰 0 (31 年度 1 件) |
| 進路指導部 | 生徒一人一人に応じた適切な進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・第一志望の実現。 ・進路情報の提供。 ・望ましい勤労観、職業観の育成 ・インターンシップの充実。 | <ul style="list-style-type: none"> ・進学、就職希望者に対するきめ細かな指導。 ・進路の手引きの充実。 ・「進路通信」定期発行。 ・1 学年進路希望、2、3 学年第一志望の明確化。 1 学年末までに 85%、2 学年末までに 90%、3 学年 1 学期末までに 95%。 ・進路変更の減少。 ・大学一般受験の奨励、増加。 ・理科系進学指導の充実。 | <ul style="list-style-type: none"> ●4 年制大学進学率 40% (31 年度 72 名、33・2%) ●日東駒専以上現役合格 10 名 (31 年度 9 名) ・国公立大学 1 名合格 (31 年度 1 名) ●就職内定率 100% (31 年度 100%) 進路未決定者 10%未満 (31 年度 15.2%) |
| 総務部 | <p>安全教育の推進 (災害安全)</p> <p>【関係機関と連携した防災教育実施校】 上級救命講習受講 社会貢献の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の推進。 「自助」「共助」の精神に基づいて適切に行動できるようにさせる。 ・奉仕体験活動の推進。 「人間と社会」の活用。 ・PTA との連携。 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した防災教育の推進。 ・防災活動支援隊の活動の充実。 ・「防災ノート」の活用。 ・東京マイ・タイムラインの活用 ・地域の資源、教育力を生かした奉仕の実施。 | 上級救命講習 2 学年 (31 年度 2 学年 2/5) |
| 経営企画室 | <p>適正な予算執行と更なる経営参画 教育環境の更なる整備、充実</p> <p>新校舎への準備</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備 校舎内外の安全を保つ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本校の「顔」としての役割、電話対応や接遇の改善、充実。 ・自律経営推進予算の適正な編成、執行。 ・施設、設備の定期点検、教育環境の整備。 | <ul style="list-style-type: none"> ・電話対応時名乗ることの励行。 ・センター執行の増加。 予算の有効活用。 |